

100万人署名累計で4,210筆集計

昨年 11 月理事会では 1,981 筆でした。昨日の理事会（1 月 16 日）に提出された署名の集約数は 2,229 筆でした。現在まで、家族会から寄せられた署名は 3,806 筆、他団体や学識者から寄せられた署名は 404 筆です。みなみ家族会（810 筆）、カトレヤ会（576 筆）、みどり家族会（502 筆）が健闘しています。

お互いに元気をもらいあっこして 2 月 2 日の「晴ときどき虹」（一こころの健康を願う市民と家族のつどい―「講演：西田先生、ソポゾウムJ-ディネター：中戸川先生」）を 5 千の大台を突破して迎えましょう！

各地で広がる街頭署名

各地で街頭署名活動が計画されています。事務局で把握しているものとしては、愛知県名古屋市では、1月15日、石川県では1月23日、大阪市では2月27日と続いています。

また、100万人署名推進委員会は全国一斉署名活動を3月21日（月）春分の日に行うことに決定しました。詳細は別途後日お知らせします。（100万人署名推進ニュース5号より）

愛知医労連臨時大会へ出席―共感広がる

昨年 12 月 19 日の愛労連臨時大会続き 1 月 16 日には愛知医療連の臨時大会に出席する機会を頂き、家族の苦難の実態、国民のこころの健康の危機的実態、その解決のために「予防対策」「医療対策」「家族・当事者支援」を柱とした「精神疾患対策基本法制定の緊急性」を訴え請願署名への協力を各単組、大会参加者をお願いしてきました。愛知障害フォーラム、名古屋市障害者団体連絡協議会など他団体へ署名協力の協力要請の依頼文を添え働きかけています。どの団体からも暖かく迎えられ署名への共感が広がってきています。

精神疾患対策基本法―マスコミも注目 1 月 16 日（日）中日新聞朝刊報道記事

署名を呼び掛ける家族会連合会のメンバー＝名古屋市中区の金山駅前



精神疾患患者支援法制定へ署名活動
名古屋で家族会

精神疾患患者の支援を充実させる「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を目指し、県精神障害者家族会連合会の会員四十五人が十五日、名古屋市中区の金山駅前で署名を呼び掛けた。

基本法案は、患者の早期治療や社会復帰

実現のため、医療機関に行けない患者に専門家を派遣するサービス開始や夜間の救急対応の拡充など在宅の精神疾患患者に対する支援の充実を求める内容。

連合会によると、世界保健機関（WHO）の指標を用いると、国内で精神疾患により失われる損失はがんや循環器疾患より多く「国は精神疾患患者の支援により力を入れるべきだ」と主張している。

署名集めは、全国で百万人を目標に進められていて、議員立法での制定を目指す。